

「第2期大網白里市子ども・子育て支援事業計画（素案）」についての パブリック・コメントの結果及び市の回答(案)

パブリック・コメント実施概要

- 閲覧・意見提出期間
令和2年1月27日（月）～令和2年2月10日（月）
- 計画素案の閲覧場所
市ホームページ・子育て支援課窓口・子育て支援館・中央公民館 中部コミュニティセンター・白里出張所・市内幼稚園・保育所（園）・小学校・中学校
- 意見提出方法
郵送・ファックス・電子メール・持参のいずれかの方法

パブリック・コメントの結果

- 意見の応募件数
 - ・郵送 0件
 - ・ファックス 1件
 - ・電子メール 3件
 - ・持参 1件
- 応募件数の合計 5件

応募意見についての市の回答（案）

ご指摘内容を計画書に反映させたご意見（文言修正等）

素案 該当頁	提出者	ご意見（原文ママ）	市の回答
P33 【就労している母親の家を出る時間・帰宅時間】の表	女性 市内在住	<p>【ニーズ調査結果について】 調査対象は全未就学世帯ではないと理解しました。分析が中途半端になり今後の予測などに反映されません。</p> <p>保護者の「就労している母親・・」の表は「父親」がありませんが項目がなかったのか必要がなかったのか何故でしょうか。</p>	<p>全未就学児に加えて学童保育利用児童の世帯を対象に調査させていただきました。</p> <p>「就労している母親の家を出る時間・帰宅時間」については、保育所等の送迎を母親が主に行っていることから母親のみの記載をしておりました。</p> <p>今回のご意見をうけて父親の調査結果も追記させていただきます。</p>

参考とさせていただいたご意見・ご質問への回答等

素案 該当頁	提出者	ご意見（原文ママ）	市の回答
P7	女性 市内在住	<p>【保育施設の待機児童について】</p> <p>土地にゆとりある地方のはずなのになんと待機児童を出していることに驚いた。ゆとりがあるだろうと思ってきた人はショックだろう。</p> <p>「今後の児童数の推移を基に」との悠長な記述には、直ちに待機児童を解消する熱意も誠意も感じられず、現在さしせまって保育が必要な親たちに、「どうぞ出て行ってください」と言っているかのようだ。市はそうしたいのか？</p>	<p>待機児童解消に向けた市の取り組みとしては、民間保育所においては、定員の増加や認可外保育施設から認可保育施設への移行、地域型保育事業の開設などを行ったほか、公立保育所においても、小規模保育所の開設や増徳保育所の定員の増加を行ってまいりました。</p>
P48	女性 市内在住	<p>【保育施設の待機児童について】</p> <p>待機の出ている2号認定の3-5歳むけに、市のはずれにある季美の森の認定こども園だけで対応しており、他地域における待機者の切り捨てである。他地域でも対応を増やす必要があり、特に駅周辺に便利な駅近保育園を市が率先してつくるべきだ。</p> <p>3号認定の0-2歳に至っては、信じがたいことに、当分不足のままの計画となっている。市はいったい何を考えているのか。若い人がそっぽを向く前に、未来を感じられる計画に練り直してほしい。</p>	<p>その結果、平成27年度の定員は508名でございましたが、平成31年度の定員は700名となり、5年間で192名の増加となりました。(P22 記載)</p> <p>今後も児童数の推移などを見極め、保育士の十分な確保を前提に、既存の施設で定員増加等の対応が可能か検討してまいります。</p> <p>(P48～P51 記載)</p>
P28 ～P30	女性 市内在住	<p>【都市間比較について】</p> <p>比較都市の考え方とありますが基礎データから見る限り数値からの分析は理解できますが年少人口、合計特殊出生率が他市から見ると何故大網白里市が低いのか、背景や分析がなく第2次計画に反映されているとは思えません。</p> <p>計画の策定の位置づけと主な関連計画の整合性をもって都市間比較について内容を膨らませて欲しいです。パブツリックコメントなのでから。(保育所・・・、子育て支援センター・・・、学童保育・・・)など。</p>	<p>比較都市については、千葉県内の隣接または近隣都市、都心からの距離がほぼ同じ(50km～60km圏内)である関東の都市、人口規模がほぼ同じ(5万人前後)である関東の都市、として定義づけました。</p> <p>年少人口については、本市隣接地域との比較では同程度であることから、地域特性が大きいと考えられます。</p> <p>また、一般的に都市部においては合計特殊出生率が低い傾向にあることから、都心通勤圏内である本市も同様傾向にあると思われませんが、女性の社会進出による共働き家庭の増加や晩婚化の影響、経済社会情勢等様々な複合的な要因が考えられ、一律の分析は難しいと言えます。</p>

			本計画全般、各種施策を通じて子育てのしやすい環境を整え、子育て支援を充実させていくことで、指標の改善を図ってまいりたいと考えております。
P36	女性 市内在住	【子育て環境や支援について】 調査結果から親の不満は明らかな。やや満足度が低いほうに傾いており、市の計画への厳しい意見が多い。その反省と危機感が第2期計画のどこに反映しているのか全く見えてこないが、委員会での指摘や議論はなかったのか。	市では、平成31年1月に子育て支援センターを実施する子育て支援館を開設し、また、令和2年4月からは、児童館、子育て支援センターを実施する子育て交流センターを開設するなど、一定のご要望に沿った施策を展開しております。 (P12 記載) 今後も実施可能な施策の検討をしてまいります。
P41	女性 市内在住	【基本理念について】 「住みたい・住み続けたいまち」と理念にあるが、その実現は危うい。出生率も低めで年少人口も下がっているからだ。子どもを持ちたい女性に選ばれない街には未来がみえない。自治体間競争が激化するなかで、この計画の方向性のままでは市の存続にかかわる。	ご意見として承ります。 本計画における各種施策・事業を着実に展開し、子育て支援を図ってまいりたいと考えております。
P44 ～P45	女性 市内在住	【教育・保育提供区域について】 平成27年から第2次計画が10年計画になります。基本の考え方に大網白里市が現状の計画から実態が変化し今後の状況に対応しきれないといえます。利用状況が今後、教育・保育提供に見合っているとは思えません。 3区域は今までは対応出来たが大網地区の再編が必要だといえます。 大網白里市は総合計画とあわせて「子育ての優しい街」を大事業として駅周辺の改革として必要だとおもいます。子育てに最善の支援をすることが若い世代の支援に繋がります。	ご意見として承ります。 地理的条件、現在の教育・保育の利用状況、教育・保育を提供するための施設の整備の状況を勘案し、中学校区とすることが最適と考え3区域としましたのでご理解をお願いいたします。 当該区域において、それぞれ本計画の各種施策・事業を着実に展開し、子育て支援を図ってまいりたいと考えております。

<p>P48 ～P52</p>	<p>女性 市内在住</p>	<p>【保育ステーション設置の提案について】 子どもの数が減って待機児童がいなくなる考えのように見受けられた。 子育て世代を増やす考えをしないと、この市は衰退していくのではないかと不安になります。待機児童に対する施策として、駅前等の保育ステーションの設置を提案します。 保育ステーションと幼稚園の併行利用により、保育所の定員に空きを作ることが出来ます。今行っている幼稚園の一時預かりのような時間外保育ではなく、朝の時間も早くから夕方まで利用出来ると、働いている方のお子さんも幼稚園で対応出来るのです。 私は今ファミサポ会員として朝夕とお子さんを預かっています。でも、朝預かれる会員はいないと聞いています。保育ステーションに朝から預かってもらえれば、安心して就活出来る方もいるでしょう。 また、保育ステーションで送迎することで、自分の住んでいる地区の子ども達と一緒に幼稚園にいけるので、学校に上がってからでも友人関係が変わらず子どもも安心です。是非、ご検討ください。</p>	<p>提案いただきました保育ステーションについて、現状では市内全域の保育所で空きがない状況であることに加えて、子どもの視点から考えると慎重な対応が必要であるという観点も踏まえ、研究してまいります。</p>
<p>P60</p>	<p>女性 市内在住</p>	<p>【ファミリー・サポート・センターの運営について】 拡大を図るとありますが、アドバイザー一人の現状では対応が出来ないのではないかと。会員だからいえるのですが、アドバイザーの仕事は大変です。 アドバイザーのいないときでも、職員が対応出来るようになっていただきたい。また、会員だって忙しく、毎月報告書を提出に行きますが、窓口まで行けないときもあります。報告書の提出は子育て支援課でも受け付けてくれるとありがたいです。</p>	<p>アドバイザーは現在、週2日の勤務体制としておりますが、不在時においては子育て支援館の他の常勤の職員により窓口・電話対応ができる体制としております。 なお、今後において、提供会員・利用会員の増加に伴う相談件数の状況を見極め、センターの適正な人員配置など事業の充実を図ってまいります。 また、センターへの相談を伴わない書類の提出については、子育て支援課において受領することができますのでご利用ください。</p>

P60	女性 市内在住	<p>【ファミリー・サポート・センターの運営について】 実態として利用者の希望を満たしているのかわかりません。どのような利用の希望があったのか内容の分析が欲しいです。充分満たしているのでしょうか。また提供会員について地域差があり利用者と提供者の関係ミスマッチしていると感じます。提供会員の確保については資格認定の改善が必要だといえます。身近な地域の支え合いは必要です。具体的な方針を要望します。</p>	<p>現在の、センターの利用状況としては、送迎の利用が77.7%、預かりを含む送迎の利用が21.5%、預かりのみの利用が0.8%になっており、希望する支援内容に対し適切に対応することができています。ただし、ご指摘のとおり、提供会員に対し利用会員が多い地域があることから、今後、当該地域における提供会員の増加に向けて対応を図りたいと考えています。</p> <p>なお、提供会員登録希望者に受講していただいている24時間の講座については、サポートするお子さんの安全確保を最優先とすることを踏まえ、最低限必要な講座であると認識してしております。ただし、時間数が長く、提供会員登録希望者へのハードルとなっていることを考慮し、受講時間短縮の可否について、今後検討してまいります。</p> <p>また、今後のセンターの利用状況については、ファミサポ通信・ホームページを活用し、情報の公表に努めてまいります。</p>
-----	------------	---	---

<p>P48 ～P52 P62 P69 P73</p>	<p>男性 市内在住</p>	<p>【公立幼稚園・公立保育所の再編方針について】 保育園の待機児童が予想されている。具体的な対策は打ち出されていない。 この事業計画の基本が「子どもの最善の利益」が実現される事を目指している事、また「発達段階に応じた質の高い子育て支援」を提供する。ことも。 この目標に照らして待機児童は絶対解消しなくてはならない課題と思う。 従って公立幼稚園の定員に余裕のある</p> <p>「大網幼稚園・増穂幼稚園を認定こども園に移行し、待機児童の解消を早期に図る」</p> <p>事を事業計画に盛り込むことが必要と考える。 大網幼稚園が瑞穂に統合となれば、市の中心部に公立の子育て関連施設が全くなり、健全な市の住環境としてあり得ない事態となるのではないかと危惧する。</p>	<p>認定こども園については平成 30 年 8 月に策定した「公立幼稚園・公立保育所のあり方について」をもとに、ご指摘の内容も踏まえて、引き続きその可否、また、子どもの居場所づくりについて検討してまいりたいと考えております。(P69、P73 記載)</p>
<p>P62</p>	<p>女性 市内在住</p>	<p>【公立幼稚園・公立保育所の再編方針について】 大網幼稚園と瑞穂幼稚園が統合し、瑞穂幼稚園に移ると伺いました。 大網の一番の市街地に幼稚園がなくなってしまうのはいかがなものか。 大網と瑞穂では地区に差があります。大網の子ども達がかようには遠すぎます。大網地区から子どもがいなくなるように思われます。今一度ご検討いただけるとありがたい。</p>	
<p>P62</p>	<p>女性 市内在住</p>	<p>【公立幼稚園・公立保育所の再編方針について】 (4)公立幼稚園・公立保育所の再編方針 まず、前述しました再編方針を前提に市全体にこどもにとって最善であること、子育てに優しい街が私たちにとって最重要課題だと確信しています。この問題は限られた関係者だけに止まらないことといえます。市全体の総合計画とあわせて市民から広く呼びかけて欲しい、大網地域が子育ての空洞化になると危惧しています。 確かに大網地区に保育施設が集中していますが小規模の乳児保育施設が集中しています。</p>	

		<p>①大網地区の再編について 大網幼稚園を瑞穂幼稚園に統合することに反対です。大網幼稚園が様々な状況の中移転問題が喫緊であることは理解できます。しかしいきなり地域の市民や利用者また今後利用可能な住民の意見もなく決めて良いのでしょうか。大網地域の公立幼稚園の役割は重要です。</p> <p>また保育所園などについては小規模の乳児保育施設は増設しましたがあくまで乳児保育で移行など今後の保育事情で希望する保育、幼稚園を選択することが困難なと思います。瑞穂幼稚園は地理的に不便です。幼稚園教育を希望する子育て世代が大網地区で住みやすくすることが重要です。</p> <p>大網地域に必要なのは様々な多様な世代が住んで良かったという街にすることが必要です。前述したように空洞化にはならない、そのために公立の保育、教育の「認定こども園」が必要です。</p> <p>瑞穂幼稚園は幼稚園と児童館に特化していくことが必要だとも思います。</p> <p>子供たちの居場所は中学校区ではありません。子供たちの居場所はきめ細やかに地域で見守ることがひつようです。</p> <p>最後に、子育てに頑張っている自治体は若い世代を呼び寄せます。</p> <p>通勤に便利で環境が良い街です。職員の皆様、沢山勉強して下さい</p> <p>期待しています。補助金額はあまりにも少ない。せめて東金市・八街市並みの補助金額に引き上げてほしい。</p>	
<p>P76 P80</p>	<p>男性 市内在住</p>	<p>【新規事業の検討について】</p> <p>(1) 家庭教育の推進 又は (1)すべての親が安心して子育てできる場の充実に新たに事業を追加して欲しい</p> <p>事業名 家庭教育支援チームの活用 計画における取り組み 家庭教育支援チームを組織化し民間と協働で家庭教育に困難や不安を抱えた保育者を支援する活動を行う。</p>	<p>ご意見として承ります。 今後、制度等を研究してまいります。</p>

		<p>文科省の家庭教育支援チームの登録制度を上手に利用して、地域における子育て支援を推進している多くの自治体(千葉市・八王子市等)が有り、これらを参考に大網白里市に於いても、支援チームを多く増やし、市・学校・保育園・幼稚園等との連携を充実させ、安心して子育てが出来る市の環境作りに資することが出来ると思うから。</p>	
全般	女性 市内在住	<p>計画は今ありきではなく、明るい未来を作るためのものです。 財政困難といっても、大網白里市がどこを向いていくのかで、未来が決まるのです。衰退の一途をたどるような計画は立てないで欲しいです。 子育て世代を増やさなければいけないのです。全国的に少子化ですが、備後高田市は子育て世代が移住し増えています。どうしたら増やせるのか職員も考えてほしいです。</p>	<p>ご意見として承ります。 本計画における各種施策・事業を着実に展開し、子育て支援を図ってまいりたいと考えております。 また、限られた財源を考慮した上で、先進自治体の子育て支援策についても、分析、研究してまいりたいと考えております。</p>
全般	男性 市内在住	<p>第1期H27年度～令和元年度の終了に伴い、令和2年度～令和6年度を第2期(5年)として位置付け取り組みを、継続していく事に、大いに賛同、協力、支援、を含め出来るとの思いを馳せています。 ※教育 保育事業1号(3歳～5歳)教育のみ・2号3号(0歳～1～2歳)については特に子育て世代(両親、家族を含む)の子育てに関する、知識・情報の提供を始め、行政として出来る支援の推進が最も重要課題であり、子育てをする側(両親)の、意識改革を重視レベルの向上を図ることが、優先的だと考えます。その中に於いても《基本理念全ての子供が主役であり対象である事は間違いありません!》 次世代に繋ぐ為に 親に始まり 地域で支え、安心して子育て出来る、環境整備を含め行政(大網白里市子育て支援事業)を確実に、しっかりと行う事が、重要と考えます。</p>	<p>ご賛同ありがとうございます。 地域別図書室等の設置については、現在大網地区は保健文化センター2階の図書室、増穂地区は中部コミュニティセンター1階の図書室中部分室、白里地区は白里公民館1階の図書室白里分室と3地区に設置をしております。 その他事項については、下記に記載のとおり計画している取り組みを着実に展開してまいりたいと考えております。</p>

	<p>私自身は、長年《食文化》という、分野での経験から感じる事は 人として、地球で生きて命をつむぎ、健康な生活を営み、子供を育て次世代を委ねて、社会に送り出す為にも、更に真正面より食と向き合い！正しい食育に、今後も行政と関わって行く事が、自分を含め、身体的健康、心の健康 人作りのお役に立てる、その様に思います。</p> <p>その様な事で、当市が取り組んでいる、子育て支援事業計画の、継続は当市に於いて今後も、重要な事業の一つで有ると、確信しています。</p> <p>食育の分野についても、大変重要な事業の、一つだと思えます、当市の食育事業の推進も第2段階に、入る事で更なる、推進事業の、加速を大いに、期待しています。</p> <p>一例として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代親・家族の学習活動(体制整備等) ・地域の安全対策(地域安全環境整備等) ・子どもの読書活動の推進(地域別図書室等の設置等) <p>他にも、推進すべき事は、多々有ると思えますが、私自身に出来る事を、見極めて機会を頂き積極的に、協力、参画、参加して行きたい その様に考えます。</p> <p>又、家庭→地域→行政との、コミュニケーションの場をどんな形で、設置していけるかも今後、第2期目の大きな、テーマ(課題)に成ると考えます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食育の大切さ(P71 記載) ・子育て世代親・家族の学習活動(体制整備等)(P76 記載) ・地域の安全対策(地域安全環境整備等) (P90 記載) ・子どもの読書活動の推進(地域別図書室等の設置等) (P84 記載)
--	--	---